

業況レポート

情報連絡員報告

平成24年9月期

製造業

- ◇パン…9月になっても今年は例年にない暑さで、業界の売上は最低であった。
- ◇酒…8月の課税移出数量は前年比98.9%。7月の全国ベースは106.7%と回復基調にあるが被災5県は80~90%台と落ち込んでおり、震災直後の復興需要に支えられてきた反動が表れている。焼酎乙類も同様の傾向。原産の風評被害は茨城の地酒にとって大きな障害となっている。
- ◇納豆…残暑が厳しく納豆業界には向かい風になった。流通業界の変革により消費者の行動パターンも変化。税制改革、エネルギー料金や福利厚生費の増大が経費に重くのしかかってきている。
- ◇菓子…彼岸や中秋の名目で、あん物の売れ行きが良くなる時期であったが、雨や台風の影響もあり期待したほどの売上とはならず、下押し傾向であった。
- ◇繊維製品（袋物）…9月中旬より受注はやや上向き。しかし全体的には仕事量が少ない。
- ◇繊維製品（縫製）…新規建築需要に期待しているが伸展が見られない状況。大口1社の加工賃引下げが来月から実施されることとなり収益面への影響が懸念される。
- ◇木材…市況は益明けから大きな変化は見られず主要プレカット工場は忙しいが実需に勢いが見られない。国産材製品は荷動きが停滞、価格も弱保合傾向。原木市況は底入れから値上がり傾向が見られるが、上昇基調に乗るほどの勢いが無い。製品荷動きの回復が遅れるため盛り上がりに欠けている。
- ◇プレカット…今は加工目標を達成。10月の予定もある程度入っている。
- ◇段ボール…昨年と比較し数%~数10%ダウン。主な取引先である製造業に加え、水産物、青果物も悪化し、全体的に売上がダウンしている。
- ◇印刷…大阪の校正印刷会社の胆管癌発生を受け、労働局による「有機溶剤中毒予防規制等説明会」が開催された。
- ◇焼物…秋の行楽シーズンを迎え様々な行事を予定。
- ◇鍍金…前月よりは稼働日数が増えたため売上の的には良くなったが、前年比では1~2割程度減少。建築関係部品は好調だが、一般的に業界の景気は低下。金属材料価格は若干下がり気味、工業薬品は安定。電気代の値上げ及び燃料費の上昇が経営を厳しい状況にしている。
- ◇重電…原発事故により原子力関係の仕事が激減しており、先行きの不安を感じている事業所がある。
- ◇電化機器…当月生産高は840百万円（前年同月比△6.8%）。下期の生産高も建設機械、自動車関連の親工場から受注減少が続くものとみられる。輸出向け建設機械に関わる親工場からの受注が急減し、金融債務の過多も絡み、経営破綻した組合員が1社発生。
- ◇自動車部品…全体的に生産高が持ち直す予想だったが、依然低迷の状態、先行きも不透明。
- ◇工業団地（農機部品）…組合員7社中1社が売上増で、全体では前年同月比94%。仕事量も増減が続いており不安定。残業等の調整や期間限定での雇用で調整している。

非製造業

- ◇セメント卸…袋セメントの出荷実績は前年同月比27%減少。前々年同月比では5%増加。震災特需は解消し、2年前の水準に落ち着いてきている。

- ◇水産卸…精算所取扱高は前年同月比3.95%減。仲卸、買受人、消費低迷で売上高も減少。
- ◇食品卸売…青果物関係は昨年とほぼ変わらぬ入荷量であったが、キロ単価が低く売上に大きく影響している。
- ◇県南地区卸売業…組合員1社が来年3月で撤退予定。
- ◇県北地区共同店舗…残暑の影響により秋物商品が売れず大苦戦。
- ◇県南地区共同店舗…当月は売上、客数とも大きく減少。8月後半から消費が減少しており、先行き不透明。
- ◇家電…LED照明、太陽光、冷蔵庫等、省エネ・節電・創エネに重点を置いた商品にシフトしているが店舗間の温度差が大きい。全体的には売上は前月比1割強の減少。
- ◇中古自動車…オークション出品台数は対前年9.8%増。しかし成約台数率は前月より回復したが依然低い。結果、収益は対前年マイナスとなっている。
- ◇石油…ガソリン販売価格は前年同月比3円上昇。販売量も減少し収益は改善されず。依然、安値販売競争が全県下で行われ廃止・休業等に追い込まれる組合員が増加。
- ◇ホテル旅館…風評被害と不景気に苦慮。東電の補償を受けずとも経営が成り立っているよう地元観光協会等と連携し誘客PRを展開しているが効果はまだわからない。
- ◇自動車整備…組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数（持込検査）は前年同月普通車92.1%、軽自動車は92%。新車登録が減少し売上も減少。継続検査台数も減少。
- ◇総合建設…懸念された工事の不調（発注予定金額と実勢施工価格が合わない）が頻発し始めた。特に災害復旧工事に多く見られる。
- ◇管工事…給水区域内での造成や開発は減少傾向にあるが、急激な売上の減少や景況の悪化までは感じられない。
- ◇県北地区運輸…主要顧客の物量が二極化し、その影響で売上高は減少。なお燃料価格が高止まり傾向にあり、収益を圧迫。円高等による主要顧客工場への影響を危惧。
- ◇県央地区運輸…一般生活用品、雑貨用品等の動きは良かった。輸出品についてはメーカーの生産調整のため動きが鈍かった。軽油は9月初めに値上げがあったが、そのままの状況。

H24.9月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品製造業	☔	▲66.7	☔	▲50.0	
その他製造業	☁	▲15.0	☔	▲40.0	
卸売業	☔	▲50.0	☔	▲50.0	
小売業（商店街を含む）	☔	▲36.4	☔	▲45.5	
サービス業	☔	▲100.0	☔	▲100.0	
建設業	☔	▲40.0	☔	▲40.0	
運輸業	☔	▲50.0	☔	▲50.0	
全体		▲36.0		▲46.0	

【天気図の見方】 県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」（又は「好転」）業種割合から「減少」（又は「悪化」）業種割合を差し引いた値（D.I値）をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

☀	☁	☁	☔	☔
30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値